



## 2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月15日

上場会社名 株式会社くろがね工作所 上場取引所 東  
 コード番号 7997 URL http://www.kurogane-kks.co.jp  
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)神足 尚孝  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)森 吉武 (TEL)06-6538-1010  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年11月期第2四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	4,140	△20.9	△102	—	△96	—	△142	—
2019年11月期第2四半期	5,234	△4.3	△50	—	△63	—	△65	—

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 △262百万円 (—%) 2019年11月期第2四半期 △131百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	△83.45	—
2019年11月期第2四半期	△38.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	10,043	3,576	35.5
2019年11月期	10,188	3,839	37.6

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 3,567百万円 2019年11月期 3,830百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	—	—	0.00	0.00
2020年11月期	—	—	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	10,500	9.9	100	—	85	—	40	23.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年11月期2Q	1,857,113株	2019年11月期	1,857,113株
2020年11月期2Q	153,495株	2019年11月期	153,495株
2020年11月期2Q	1,703,618株	2019年11月期2Q	1,703,618株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的なパンデミックとなったことで、わが国経済だけでなく世界経済にも大きく影響を及ぼし、極めて厳しい状況にあります。また、雇用情勢も厳しさを増すなど、景気の先行きについては今後も厳しく、不透明な状況が続くものと見込まれております。

このような環境下、当社グループでは、緊急事態宣言中のオフィス出勤者の7割削減の要請を受け、時差出勤、在宅勤務及び自宅待機等の対策を講じ、感染拡大の防止に努めるとともに、業務継続が可能な地域においては感染防止策を講じた上で可能な限り対応してまいりましたが、緊急事態宣言中に予定されていた案件の延期、案件規模の縮小等の影響を受けました。一方、緊急事態宣言解除後のオフィスへの出社回帰の流れに伴って、ワークプレイスにおける「アフター・コロナ」、「ウィズ・コロナ」への対応に向けた案件は着実に増加傾向にあります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、前述のとおり複数の案件において案件の延期、案件規模の縮小等の影響を受けたこと、また前年同四半期と比較して医療福祉関連施設の完工案件の減少が影響し、売上高は前年同四半期を下回りました。損益面におきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少が影響し、厳しい状況となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は41億40百万円（前年同四半期比20.9%減）、営業損失は1億2百万円（前年同四半期は営業損失50百万円）、経常損失は96百万円（前年同四半期は経常損失63百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億42百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失65百万円）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### [家具関連]

##### (事務用家具部門)

オフィスにおける社員のエンゲージメントを高めイノベーションを促進させるためのオフィス・ワークスペースの構築について、働き方の自由度に重きを置き、ABW(アクティブ・ベースド・ワーキング)の考え方を取り入れて、最も働きやすい場所と時間を提供する家具の提案をするとともに、さらに「アフター・コロナ」、「ウィズ・コロナ」への対応として、バイポーラ・イオン空気浄化システムAtmosAirなど、IAQ(インテリア・エア・クオリティ)の改善提案を含めたオフィス・ワークプレイスの環境改善を企図したトータルソリューション営業を積極的に展開しております。加えて、ファイリングのノウハウを活かしたコンサルティング提案をプラスオンする形で、クロスセルの徹底を行っております。また、オープンオフィスの中で個人やチームの生産性向上を企図した新製品「HANARE」を発売する等、新たな製品戦略の展開をしております。

しかしながら、上記のとおり緊急事態宣言の期間中、特に金融関連企業及び外資系企業を中心に複数の案件の延期、規模の縮小等により、売上高は前年同四半期を下回りました。

##### (家庭用家具部門)

家庭用家具市場においては、就学児童数の減少やライフスタイルの変化により総需要台数が減少する厳しい市場環境下において、大型量販店向けオリジナル学習家具商品の投入、タブレット端末を利用する学習スタイルに対応した新商品「The Desk」の発売等、受注拡大に注力しましたが、昨秋の消費増税や新入学時期における全国的な休校による買い控えの影響を受けました。在宅勤務の増加により、椅子を中心にホームオフィス向け製品の売上高は増加傾向にありますが、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、家具関連事業部門の売上高は29億49百万円（前年同四半期比14.5%減）、セグメント利益（営業利益）は52百万円（前年同四半期比24.0%減）となりました。

#### [建築付帯設備機器]

##### (建築付帯設備他部門)

主たる市場である医療福祉施設に対して建具・家具等のトータルセールスを展開するとともに、新空調事業(クライメートウィザード、ダクトソックス、AtmosAir)との協働によるクロスセルを強化し、当下半期にかけては受注、引き合い件数が増加傾向にありますが、当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症による建築現場の工期遅延等の影響を受ける等、売上高は前年同四半期を下回りました。

##### (クリーン機器他設備機器部門)

クリーン機器他設備機器部門においては、マーケットニーズの掘り起こし、取込みによる新製品の開発・既

存製品の改良を行い、ならびに既存納入先のリニューアル需要の掘り起こしを強化するとともに、新空調事業については、「アフター・コロナ」、「ウィズ・コロナ」への対応を含めたIAQ改良・改善提案、省エネルギー対策の提案等、当マーケットへのセールスを強化した結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、建築付帯設備機器事業の売上高は11億91百万円（前年同四半期比33.2%減）、セグメント損失（営業損失）は3百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）30百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債、純資産の状況について

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は100億43百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億44百万円減少いたしました。この主な要因は仕掛品が2億11百万円増加したこと等がありましたが、受取手形及び売掛金が1億40百万円、投資有価証券が1億33百万円減少したこと等によるものであります。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は64億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億18百万円増加いたしました。この主な要因は長短借入金が79百万円増加したこと等によるものであります。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は35億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億62百万円減少いたしました。この主な要因は利益剰余金が1億42百万円、その他有価証券評価差額金が1億23百万円減少したこと等によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況について

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、81百万円増加し12億33百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失1億22百万円、たな卸資産の増加額1億98百万円による資金減少要因がありましたが、減価償却費1億18百万円、売上債権の減少額2億79百万円等の資金増加要因の結果、57百万円の資金増加（前年同四半期は2億10百万円の増加）となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出31百万円等による資金減少要因の結果、20百万円の資金減少（前年同四半期は1億19百万円の減少）となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金の借入による収入（純額）79百万円等による資金増加要因の結果、45百万円の資金増加（前年同四半期は2億29百万円の減少）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、現時点では2020年1月17日に公表しました業績予想からの変更はありません。

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、今後の経済情勢など様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,156,951	1,238,812
受取手形及び売掛金	1,241,770	1,101,459
商品及び製品	1,259,915	1,226,531
仕掛品	524,696	736,319
原材料及び貯蔵品	159,015	179,577
その他	91,945	85,057
貸倒引当金	△204	△188
流動資産合計	4,434,090	4,567,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,342,432	1,308,221
土地	2,375,281	2,375,281
その他(純額)	478,708	429,673
有形固定資産合計	4,196,422	4,113,176
無形固定資産	38,012	31,175
投資その他の資産		
投資有価証券	1,179,882	1,046,134
その他	342,085	288,155
貸倒引当金	△2,433	△2,463
投資その他の資産合計	1,519,534	1,331,826
固定資産合計	5,753,969	5,476,178
資産合計	10,188,059	10,043,748
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,569,797	1,576,797
短期借入金	1,522,900	1,881,100
1年内返済予定の長期借入金	798,212	670,563
未払法人税等	28,287	19,444
受注損失引当金	9,120	1,300
その他	449,532	523,050
流動負債合計	4,377,849	4,672,256
固定負債		
長期借入金	912,346	760,971
リース債務	137,429	112,848
製品自主回収関連損失引当金	38,300	2,748
退職給付に係る負債	524,604	560,457
再評価に係る繰延税金負債	352,883	352,883
その他	5,595	5,285
固定負債合計	1,971,159	1,795,193
負債合計	6,349,008	6,467,449

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998,456	2,998,456
利益剰余金	273,788	131,616
自己株式	△157,882	△157,882
株主資本合計	3,114,362	2,972,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58,367	△181,955
繰延ヘッジ損益	708	3,289
土地再評価差額金	773,483	773,483
その他の包括利益累計額合計	715,825	594,817
非支配株主持分	8,863	9,290
純資産合計	3,839,050	3,576,298
負債純資産合計	10,188,059	10,043,748

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
売上高	5,234,330	4,140,831
売上原価	4,260,333	3,226,000
売上総利益	973,997	914,830
販売費及び一般管理費	1,024,359	1,017,295
営業損失(△)	△50,362	△102,464
営業外収益		
受取利息	14	3
受取配当金	9,518	8,901
持分法による投資利益	-	6,988
仕入割引	5,076	3,996
経営指導料収入	7,222	10,090
その他	3,040	8,721
営業外収益合計	24,872	38,701
営業外費用		
支払利息	18,892	19,884
支払手数料	6,092	6,382
その他	12,696	6,615
営業外費用合計	37,680	32,882
経常損失(△)	△63,171	△96,646
特別利益		
投資有価証券売却益	26,998	-
製品自主回収関連損失引当金戻入額	-	23,237
特別利益合計	26,998	23,237
特別損失		
固定資産除却損	2,238	0
投資有価証券評価損	-	36,608
積立保険解約損	2,045	12,726
特別損失合計	4,284	49,334
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,456	△122,743
法人税、住民税及び事業税	9,523	8,746
法人税等調整額	13,357	9,854
法人税等合計	22,880	18,600
四半期純損失(△)	△63,337	△141,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,508	827
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△65,845	△142,171



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
四半期純損失(△)	△63,337	△141,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,621	△123,459
繰延ヘッジ損益	△356	2,581
持分法適用会社に対する持分相当額	△319	△128
その他の包括利益合計	△68,297	△121,007
四半期包括利益	△131,634	△262,352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△134,142	△263,179
非支配株主に係る四半期包括利益	2,508	827

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,456	△122,743
減価償却費	128,886	118,308
有形固定資産除却損	2,238	0
積立保険解約損	2,045	12,726
投資有価証券売却損益(△は益)	△26,998	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	36,608
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△129	14
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,200	△7,820
過年度決算訂正関連費用引当金の増減額(△は減少)	△65,000	-
製品自主回収関連損失引当金の増減額(△は減少)	-	△35,551
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,052	35,852
受取利息及び受取配当金	△9,532	△8,904
支払利息	18,892	19,884
為替差損益(△は益)	536	467
持分法による投資損益(△は益)	750	△6,988
売上債権の増減額(△は増加)	△78,323	279,586
たな卸資産の増減額(△は増加)	639,228	△198,993
仕入債務の増減額(△は減少)	△392,886	3,854
未払消費税等の増減額(△は減少)	23,063	△36,828
その他の流動資産の増減額(△は増加)	12,152	5,147
その他の流動負債の増減額(△は減少)	9,971	△10,280
その他	△5,897	△5,084
小計	227,792	79,255
利息及び配当金の受取額	9,533	8,904
利息の支払額	△19,702	△19,913
法人税等の支払額	△7,440	△11,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,182	57,241
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	15,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	△56,185	△31,812
無形固定資産の取得による支出	△3,889	△2,228
投資有価証券の取得による支出	△80,676	△17,122
投資有価証券の売却による収入	17,321	-
貸付けによる支出	△17,126	△4,725
貸付金の回収による収入	3,566	4,712
投資その他の資産の増減額(△は増加)	7,068	31,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,920	△20,094

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,300,000	2,100,000
短期借入金の返済による支出	△4,171,800	△1,741,800
長期借入れによる収入	200,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△501,654	△429,024
配当金の支払額	△16,781	△863
非支配株主への配当金の支払額	△400	△400
その他の支出	△38,821	△32,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229,457	45,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	△536	△467
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△139,731	81,860
現金及び現金同等物の期首残高	773,423	1,151,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	633,692	1,233,812

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月27日 定時株主総会	普通株式	17,036	10.00	2018年11月30日	2019年2月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,451,921	1,782,409	5,234,330	—	5,234,330
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	3,451,921	1,782,409	5,234,330	—	5,234,330
セグメント利益	68,949	30,328	99,278	△149,640	△50,362

(注) 1 セグメント利益の調整額△149,640千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,949,697	1,191,133	4,140,831	—	4,140,831
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	2,949,697	1,191,133	4,140,831	—	4,140,831
セグメント利益又は セグメント損失(△)	52,381	△3,772	48,608	△151,073	△102,464

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△151,073千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。